

新春を迎えて



社団法人 岐阜県都市整備協会

会長 細江茂光

新年、あけましておめでとうございます。

清々しい平成23年の新春を迎え、謹んで会員の皆様にお祝詞申し上げます。

会員の皆様におかれましては、日頃から土地区画整理事業をはじめ、まちづくり事業の推進にご尽力賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、平成20年9月の米国のリーマン・ショックに端を発した百年に一度と言われる世界経済危機は、最悪の状況は脱したものの、その先行きにはまだ不安感、不透明感が漂っており、デフレスパイラル状況の継続、昨年9月の日本振興銀行の破綻に伴う戦後初のペイオフの発動、急激な円高の進行など、わが国の経済状況は引き続き厳しいものがございます。

また、一昨年の夏に民主党連立政権が誕生し、生活者を重視した政策を中心にさまざまな政策が実施されていますが、低迷する日本経済を立て直し、社会全体の抜本的な改革を実感するまでには至っておらず、まだ時間を要する状況にあります。

こうした情勢ではありますが、市民生活の安全や安心を確保するために、市街地開発事業などを活用したまちづくりは大きな役割を果たしていくことが期待されております。特に、昨年7月15日の集中豪雨が県内各地に大きな被害をもたらしたことは記憶に新しく、安全・安心なまちづくりへの期待はさらに高まっていると考えます。

会員の皆様におかれましては、これまでも事業費の縮減や保留地の早期処分など、効率的な事業運営に努力されており、引き続き、地域住民の熱意と創意工夫を生かした、より魅力的なまちづくりに取り組まれますことを心からお願い申し上げます。

本年度は、新たに川辺町様、新加納土地区画整理組合様、関市笠屋土地区画整理組合様、鵜沼駅東部第二土地区画整理組合様、北方町高屋西部土地区画整理組合様が、当協会にご入会いただきました。当協会といたしましては、会員の皆様のご要望にお応えできますよう、まちづくり活動の新たな取り組みや情報化の推進などを積極的に行ってまいります。

今後とも、まちづくり活動の支援や提案などを通じて、信頼される岐阜県都市整備協会であり続けることを目指し、役員一同、いっそう努力する所存でありますので、皆様方の温かいご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

最後となりましたが、本年が皆様にとりまして、より実り多く豊かな年であることを祈念いたしまして、年頭のごあいさつといたします。